

企業理念
(1990年制定)

基本理念

心と技術をこめたモノづくりにより
幸せと豊かさに貢献します

経営方針

技術の先端に挑戦し、新しい価値を創り出す
独自の領域を切り拓き、事業の広がりを追求する
人を大切にし、人を磨き、人が活躍する場をつくる
社会に対する公正さと、環境との調和を大切にする

行動指針

自らを鍛え、自己ベストに挑戦する
たがいに信頼し合い、ぶつかり合い、高め合う
外に向けて開かれた心を育てる

スローガン

すごいをさりげなく

CSR経営ビジョン
(2008年制定)

社会からゆるぎない信頼を得ている
地球貢献企業になる

CSR行動指針

変化し続ける社会動向をつかむ
貢献できる課題を見極める
迅速に行動しゆるぎない信頼を得る
一人ひとりがCSR当事者として行動する

企業理念

CSR経営ビジョン

創業の精神

創業の精神

- 一、生産事業は社会奉仕なり。すなわち人類生活の幸福増進を目的とするものなるがゆえに、良品を廉価に、便利なるものを提供するを目的とすべし。
- 二、優秀品を提供することを根本方針とし、また他の追従を許さざることを生命とすべし。
- 三、経営はあくまで公平親切を旨とすべし。公明正大なる経営者は資本に対する保証、労働者に対する分配、消費者に対する義務を公平に、いわゆる合理的分配を行うことにより、その任務とすべし。
- 四、機械力を充実して従業員をなるべく少なくすべし。これ能率向上の要諦なり。
- 五、事業の成否は一生懸命熱心に勉強して、互いに向上発展を期せんとする努力の大小によるものなるがゆえに、大努力を試みるべし。

横浜ゴムは、1929年、中川末吉社長が当時建設した横浜工場(横浜市鶴見区)開設に際して述べた訓話を創業の精神にしています。この創業の精神には、今日のCSR経営に通じる社会性と経済性の両立がうたわれています。

社会からゆるぎない信頼を得ている

“地球貢献企業” になるために

Responsibility

中期経営計画 グランドデザイン 100 (GD100)
(2006年制定)

ビジョンと基本方針

創業100周年にあたる2017年度に
企業価値・市場地位において、独自の存在感を持つ
グローバルカンパニーを目指します

長期財務目標(2017年度)

売上高1兆円、営業利益1,000億円、営業利益率10%

基本方針

良いモノを、安く、タイムリーに
トップレベルの環境貢献企業になります
高い倫理感を持ち、顧客最優先の企業風土を作り上げます



環境 GD100 の基本方針

経営方針に示された
「社会に対する公正さと、環境との調和を大切にする」
を規範として、トップレベルの環境貢献企業になる

- 環境経営を持続的に改善します
- 地球温暖化防止に取り組みます
- 持続可能な循環型社会実現に貢献します

GD100の経過

GD100は3カ年ごとに事業戦略、テーマを見直す計画で、2008年度にフェーズⅠが終了、2009年度からフェーズⅡがスタートしています。

■フェーズⅠ(2006～2008年度)の結果

「収益を伴った成長」をテーマとして売上、利益増を目指すと共に、環境経営強化の方針を掲げ、2008年度にはCSR本部設立によって、社会側面の経営の充実を図りました。財務目標面では2007年度に売上高5,514億円、営業利益331億円と過去最高を記録しましたが、2008年度は世界同時不況の影響で、売上高5,173億円(目標5,600億円)、営業利益128億円(同350億円)で目標未達となりました。

■フェーズⅡ(2009～2011年度)の目標

フェーズⅡは「高質な成長」をテーマとして、CSR経営をより強化する方針です。人、社会、環境を大切にする社会から信頼される地球貢献企業を目指します。財務目標面では2011年度に売上高5,500億円、営業利益385億円を目指しています。

フェーズⅡの定量目標(2011年度)

売上高	5,500億円
営業利益	385億円
営業利益率	7%
3年間のフリーキャッシュフロー	300億円以上